

6月定例会議のあらまし

通年議会が5月から始まり、初めての定例会議を令和3年6月14日から16日までの3日間開催しました。

町から、各会計の補正予算のほか、教育長の選任が提案され、全て原案可決しました。

議員提出の意見書4件を可決し、一般質問では5人の議員が町長に考えを問いました。

6月
定例会議
6/14~16

バックアップボイラーとしての温風暖房機を1基増設

上名寄「育苗施設」に設置している木質バイオマスボイラー

◆令和3年度下川町一般会計補正予算(第3号)を原案可決

今

回の補正予算は新型コロナウイルス感染症に係る経費、緊急を要する経費、前年度決算見込みに伴うものが計上され、この議案については総務産業常任委員会に付託され審議を行いました。

補正予算の内容として、公共施設等総合管理計画の改定、宅配等事業体制強化のための地域おこし協力隊の増員、育苗施設の暖房機の増設、農産物加工研究所の冷凍機修繕、子育て世帯生活支援特別給付金、スキー場圧雪車の修繕、山びこ学園オンライン会議等対応機器整備、コロナワクチン接種体制強化、多目的宿泊交流施設の外壁補修などに係る経費です。

付託された総務産業常任委員会の質疑では、子育て世帯生活支援特別給付金について、「所得の低い人がこれからも出てくる。上乗せの議論はなかったのか」に対し、「今の時点ではない」と、育苗施設について

「木質バイオマスボイラーは使わないのか」に対し、「平成20年に開始して14年目になるが、これまで再三修理して使ってきた。ボイラーの製造会社は既に倒産しており、修理の目途がつかっていない。しかし、来年も20万本の育苗が予想され、まずは利用可能な状態にしなければならず、バックアップボイラーとして補正をお願いしたい」との答弁がありました。

総

務産業常任委員会から「公共施設総合管理計画推進事務について、削減の目標値が必要である。下川町にふさわしい管理計画にし

ていくべきである」、「子育て世帯生活支援特別給付金について、国の制度に依存するばかりでなく、さらなる上乗せや町独自の政策を打ち出すことにより、住み続けたいと思われる町にしていく必要がある」、「育苗施設活用推進事業について、木質バイオマスボイラー導入までの経緯を踏まえ、今後施設を継続するためにはどうすべきか、修繕も含め基本的な方針を早急に示すべきである」との意見を付しました。

これらを踏まえ、本会議の採決では全員賛成により原案可決しました。

人事案件



かわしままさよし

教育長に川島政吉氏を選任

下川町教育長の選任について松野尾道雄教育長の任期満了による退任に伴い、川島政吉氏を教育長に任命することに対して議会の同意を求めました。【全員賛成で同意】